

東松山市幼児教育研修会 アンケート結果【当日参加者】

日にち 令和6年8月8日(木)

会 場 平野市民活動センター

参加者 95人

アンケート回収 92枚

アンケート回収率 96.8%

1. 所属

	幼稚園	保育園	小学校	懇談会参加者	その他	未記入	計
人	59	20	8	1	2	2	92
%	64.1	21.7	8.7	1.1	2.2	2.2	100

2. 年代

	10代	20代	30代	40代	50代	60代	その他	未記入	計
人	0	35	16	16	15	5	3	2	92
%	0	38.0	17.4	17.4	16.3	5.4	3.3	2.2	100

3. 参加してみたの感想

	大変良かった	まあまあ良かった	ふつう	やや物足りない	物足りない	未記入	計
人	68	16	0	0	0	8	92
%	73.9	17.4	0	0	0	8.7	100

4. 良かった点、物足りない点、印象に残ったことなど、ご意見をお聞かせください。

【幼稚園】

- 1 大変わかりやすいお話で、自分を振り返ることができた。環境を考えることの大切さ、やってみたいと思えるような事を考え、架け橋ができたと思う。
- 2 先生の声が聞き取りやすくて、分かりやすくお話してくれて、そうそう、そうだなと思うこともあり、良かったです。
- 3 吉永先生のご講演は実際の経験をふまえておはなししてくださっているので、とても分かりやすかったです。私自身の保育の振り返りをするよい機会となりました。質問等にも吉永先生が丁寧に回答されており、学びの多い研修となりました。
- 4 自分の保育を振り返ることができ、とても参考になりました。子どもの主体性を存分に生か

- せるよう余裕を持った計画をさせようと思います。ありがとうございました。
- 5 幼小の接続や、重視すべき点について改めて学び、考える時間となりました。普段の保育が、子どもたちの気持ちを大切に展開されていくよう、心がけていきたいと思います。
 - 6 子ども達の活動の中で環境設定を少し変えることで話や活動が広がり、興味・関心が持続していくことが大切であると改めて知ることが出来た。また、子ども達からやってみたいという気持ちを一緒に考えたり、面白がったり先生も入り進めていくことを大切にしながら今後の保育に努めていきたいと思った。
 - 7 子どもの主体性と思いながらなかなか取り入れられず、保育者の考えになるように導いてしまっていたので気をつけないと反省したとともに、子ども達の楽しめる保育を考え直すことができました。ピザの話をききやってみたいと思いました。
 - 8 写真を映しながらの研修会で話している内容の様子が分かりやすかったです。
 - 9 小学校の先生のお話を聞く時は今まであまりなかったので実際にしていることなどが分かって良かった。資料映像などが見られるとイメージがしやすいと思った。
 - 10 幼稚園におけるカリキュラムが子どもたちの主体的な学びや遊びにつながっているか、さらに小学校での自主的な活動を見据えたものかをチェックしながら常に考えていくことが必要だと思った。子どもたちの「やってみたい」をキャッチし、対話しながら進めていくことが大事だと思った。
 - 11 幼稚園側と小学校側での考え方の違いについて知る事ができた。子どもたちと一緒に考え、意見を出していくという時間が大切だと思いながらも、なかなかしつかり時間をとる事ができなかつたり保育者の考えを中心に進めたりとしてしまうので、日頃の保育を振り返り見直していかなければならないなと感じた。
 - 12 子どもの主体性を起点にやりたい、楽しいという思いが学びにつながっていくということがよく分かった。お話を聞いて、自分の保育を見直すきっかけとなっている。頭では、こういったことが大切だと分かっているが、実践することが、まだあまりできていないので、子ども達と一緒に考えたり、楽しんで活動できる、やりたいという思いを大切にできる先生になれるように頑張っていきたいと思う。
 - 13 今後も子どもの「やってみたい」という主体的な思いを引き出し、それが学びに繋がる場、安心が大前提にありながら、活気ある保育の場となるよう努めていきたいと思います。
 - 14 吉永先生のお話を伺って自分の保育を振り返るきっかけにもなりました。子どもたちの主体性を大事にと思いながら保育はしてきたつもりですが、改めて考えてみると自分の考えに引っ張っていたかなと思いました。2学期からの保育の中で、もっと子どもたちの考えや意見を大事にしていこうと思いました。小学校との接続については、近年の研修などでお話を聞く機会もあり、とても大切な事だと思いつつ、難しいなと感じています。小学校の先生に園の保育を見て頂く機会などあっても良いのかなあと考えています。
 - 15 内容がとてもわかりやすく理解しやすかった。子どもがやってみたい！と思うような言葉がけや関わりをこれからも続けていきたい。
 - 16 幼稚園での遊びの中での学びがどのように小学校に取り入れられているのだろうと思っていましたが、今日のお話を聞き、ままごと遊びなどのごっこ遊びの姿を取り入れながら友達と一緒に楽しめばをききこばにしている授業もあるのだと分かりました。そして協働的

- な学びにも繋がっていくのだと分かりました。また、普段の保育の中で、保育の1日の振り返りをしますが、保育者が子どもの姿を見て良いなと思ったこと、面白いなと思ったことを子ども達に共有することで、子どもの興味に繋がり、広がっていくということが分かり、取り入れて、保育をしてみたいと思います。ありがとうございました。
- 17 私も子ども達に意見を聞くときに、自分の考えを子ども一人の意見から繋げて、あたかも子ども主体に見せかけた方法を取り入れてしまうことがある為、「子どもの意見を取り入れる」という事を大前提として改めて大切にしていきたいと思いました。また、帰りの挨拶の前に今日1日楽しかった事や、気づき等を振り返る時間を全く取り入れていなかった為、クラスのみんなで対話する時間、積極的に意見が言える時間を今後増やしていきたい、子どもの主体性を育てていきたいと思いました。本日はありがとうございました。
- 18 今回は架け橋プログラムについての講義でしたが、私が担任している年少クラスでも環境、活動の工夫など活かせる内容もあったので取り入れていきたいと思いました。プログラムについて知らないことも多かったので学べる必要があると思いました。ご講義ありがとうございました。
- 19 今日は講演をして頂き、ありがとうございました。小学校との接続についてや小学校の現状など多くのことを学ぶことができました。お話を聞いて幼児教育をする側と小学校側のお互いが歩み寄ることが大切だと感じました。また、私はいつでも子どもの思いに寄り添う保育を心がけていきたいと思いました。
- 20 架け橋プログラムについて、改めて詳しく説明してくださり、とても分かりやすかったです。又、実際の小学校での取り組み等、工夫している所の写真を使用しながら伝えてくださったので子ども達の様子も感じ取りながら考えていくことができました。主体性の大切さ、柔軟なカリキュラム、興味・関心の共有、現場ですぐ取り組んでいけることが沢山あったので、今後の保育に活かしていきたいと思います。ありがとうございました。
- 21 実際の写真を見ながら、子どもたちの後ろ姿だけでもひとつ環境を変えるだけで、やり方を変えるだけで楽しんでいる姿が見られました。小学校に向けて座れること、聞くことなどを中心にやっていましたが、子どもたちが自分たちでやりたいことを見つけたり、考えなどを発信したりなど、意欲をもって小学校へ行けるようにすることをできるようにしたいなと今回の研修を聞いて思いました。本日は、ありがとうございました。
- 22 小学校の授業の中で子どもたちの「やりたい」を授業の中で取り入れて行う様子が写真から伺えて、印象に残りました。勉強とかとなると気持ち的に進まないことでも自分たちの「やりたい」を行うことでより興味をもって取り組めるのではないかと感じました。幼稚園での生活の中でも子どもたちの気持ちを尊重しながらすごしていきたいと思います。また、お互いに刺激しあったり、共有したりしながらつながりを大切にしていきたいです。
- 23 小学校でどのような授業が行われているのか、写真を見ながら学ぶことができ、良かったです。特に自己紹介のお話では、幼稚園でも1人で前に立ち発表形式で行っていたので、やり方の見直しが必要かなと思いました。自分の中では、こんな風に育ってほしいという姿がありますが、そうなるためにはやり方をしっかり考えないといけないなと改めて思いました。小学校との接続を考えつつ、本日学んだ主体性などを日々の保育にもっと取り入れられるように夏休みの間に保育内容を考え直したいと思います。お忙しい中、貴重なお話を下さ

りありがとうございました。

- 24 子どもたちがやりたいと思ってその活動に取り組んでいるのかを中心にしながら、必要なことを身につけていけるととても良いとわかった。
環境設定の大事さ→個々の活動を机くつつけるだけで広がっていく。シェアしていくことで興味などつながったり広がったりする。
大人が答えを持っている→その答えが子どもから出たとき、あたかもそれが子どもたちが決めたような状況がある。
- 25 子ども主体的を意識し、保育していくことは、園で行ってきているが、小学校ではどのように主体性を行っているのか、気になっていました。小学校の先生によっては、難しいと言われることがあったので、小学校でも動き出していることが知れて良かったです。
- 26 日々の保育の中で子どもたちの行いたいものに合わせて活動しようとしている。サークルタイムを用いたりして子どもの考えを実現しようとしているが、小学校に上がると、子どもたち自身の力で行える方法が増えてより主体性が育っていると感じた。その為の土台として幼・保では広い選択肢を伝えていくことが重要であると学ぶことが出来た。学びになるお話が聞けるのにメモが取りにくい環境だと感じたので、十分にスペースがある場で次回は行って頂きたい。
- 27 限られた時間の中で、子ども達の「やってみたい」をどこまで拾えるだろうか、毎日過ごす環境は子ども達にとって心地よい場所になっているだろうか、今年度は年長クラスを担当していて、今日のお話は色々と考えさせられることが多かったです。2学期は行事が沢山あり、また、少しずつ小学校を意識し始める時期だと思うので、子ども達と過ごす時間が、有意義なものになるように、努めたいと思います。
- 28 小学校に上がった時に環境がガラリと変わってしまうだけに、新しく経験することが山程ある中で毎日通うことが本当に大変なことなんだと改めて考えることができました。6～7歳の子たちが自ら喜んで取りくめる環境作り、プログラムの意識を積極的に行っていきたいと思いました。
- 29 学校での具体的な取り組みの例を紹介していただいたのがよかったと思います。小学校も忙しいと思うので園からのアクションをとりづらい園があるのと、どの学校と連携してよいか迷いがあるので幼保と小の連携システムみたいなものがあるとよいと思います。質疑応答で吉永先生からアイデアをいただきました。
- 30 大人の考えを子どもに押しつけるのではなく、子どもたちが自主的にやりたいという気持ちを大切にしていけることが大切だと思いました。今まで、やってきたように思いますが、まだまだ子どもの意見を聞くことが大切だと思いました。
- 31 カリキュラムについて園で深めてさらに進めていくべきことと接続の重要な意味をよく知れました。何より講師のエネルギーがすばらしかったです。ありがとうございました。
- 32 「やってみたい」を今後も大切にしていきたい。
- 33 今回の研修を通じて幼児教育から小学校（中学校）へとつなぐ「架け橋プログラム」の存在がとても重要なことを改めて知ることが出来ました。講演の資料の説明でもあったように、活動できる上で子どもたちが行う場所・環境設定をよく考えて取り組むことが大切だとわかりました。

- 34 子どもたちが「やってみたい」と思える環境、子どもたちが「楽しい」と思えること、子どもたちが主体となって、日々園生活を送っていけるように、今後の保育も試行錯誤しながら沢山子どもたちと遊びを通して学んでいきたいです。本日はありがとうございました。
- 35 子どもたちの「やってみたい」につなげるために、環境の設定が大切であるということが改めて分かりました。園でも、どうしても子どもたちを待たせてしまうことや、大人の思いに意思決定がある場面が出てきてしまうので、子どもが主体的に遊び込めるように進めていこうと思いました。子どもと一緒に考え、思いを共有、共感し、今日学んだことを活かしながら保育をしていきたいと思います。ありがとうございました。
- 36 今回のお話を聞いて、子どもと一緒に考え、展開していくことが、主体性につながるということが分かりました。現在担任をしていて、やらなければいけないことや行事もたくさんあります。その中で子どもと一緒に考えていくようにしていますが、先生のお話にもあったように、大人の意見と一致したときに共感することがあったなと反省です。ありがとうございました。
- 37 子どもたちの主体性が育っていくためには、環境づくりや、活動が子どもの“今の”興味に合っているかなども見極めて保育を行っていく必要があると改めて感じた。自己紹介の例も、子どもの姿、立場に立って行えたら、良かったと私も反省しました。今回の研修で、様々な事例を見たので、私も保育に少し取り入れてみようと思った。
- 38 「架け橋プログラム」について、具体的に分かりやすく知ることができました。実践例もたくさん教えて下さり、自分が取り組むときにイメージが持ちやすかったです。ありがとうございました。
- 39 子どもの主体性の大切さを日々振り返り反省しながら保育を心掛けています。環境をかえること、考えをかえることで“子どもたちが”変わることをあらためて感じた研修でした。本当にありがとうございました。
- 40 子どもたちの「やってみたい」という主体的なことが大切ということがよく分かるお話でした。日々の保育の中で、遊びや興味を他の子たちに共有することで、皆であそぶことができたり（ピザがまの例）自分の保育にも活かせることがあると思ったのと同時に、小学校でも幼児期に育てておくことでスムーズになることも多いのではないかと思います。小学校に行った時に指示待ちになってしまう・・・という例が印象に残りました。自分で考える力が大切だと思いました。
- 41 様々な事例を通じて、少し環境を変えるだけで、子どもたちの遊び、学びが主体的でいきいきした様子になる姿を見て、自分の保育の中で振り返り、もっとおもしろくなるはずという期待感がわいてきました。小学校の授業の仕方も変わってきていること、接続時もっと連携を取ることが大事だと改めて思いました。ありがとうございました。
- 42 小学校の環境に上手く馴染むことができず・・・というお話をよく耳にしていたので、実際小学校との認識や考え方の違いを感じ、小学校との連携の際に伝え方だったり、何を重点的に伝えていく必要があるのか考えなければならぬと感じました。又、子どもの主体性“やってみたい”という気持ちを皆で共有しながら今後の保育に生かしていけたらと思います。
- 43 子どもたちと関わる際に、自分の中で思い描いている活動予定の方に子どもたちを導いていることがあるなと振り返って思いました。子どもたちと対等な立場で、環境設定等も工夫してより良い保育ができるようにしていきたいと思います。

- 44 小1ギャップといわれ、小学校へ入学してからのつまずき、不登校が年々増加していることに残念で不安に思っていました。本日のお話からヒントをいただき、交流会のあり方を見直して行動したいと思います。
- 45 子どもと何か活動する際、関わる際に子どものやりたいという気持ちを引き出しつつ、子ども主体で活動を行っても楽しいと思った。活動に適している環境作りをすることで子どもの主体性が発揮できると思った。
- 46 幼保小の接続の大切さを改めて感じました。小学校がどのように考えてカリキュラムを取り組んでいるのかも知れて良かったです。子どもたちの意見をよく聞き、子どもたちが主体的に行動出来るように今後の保育を進め、小学校に繋げていきたいと思った。
- 47 架け橋プログラムについてよく理解できた。小学校の授業の取り組みを知ることができて大きな学びとなった。主体性を発揮させる大切さや方法を学ぶことができた。小学校の先生にもっと参加してほしい。
- 48 今回の研修で印象に残ったところは「子どもと一緒に考えるというのはどういうことか」という話でした。自分の中では子どもの意見を聞きながら活動を進めているつもりでしたが、学年で決めた週案など変えることが難しい活動があったりすると、保育者の思いや考えもあるので、子どもと保育者の考えが同じであった時に大きく反応してしまうのに心当たりがあり、自分の保育の在り方、主体性とはどういうことかを今一度考えながら保育の改善をしていきたいと思いました。お忙しい中、勉強させて頂き、ありがとうございました。
- 50 本日の講義を聞いて、普段の保育で行う遊びの中での学びと、小学校に上がってからの学びに思っていた以上にギャップがあるのだなと感じました。ぜひ、本日の講義内容が沢山の小学校教員の方に届いてくれたら・・・と思いました。また共同エージェンシーの部分で、自分（大人）が考えていたことに近い結果となるよう、子どもの意見を導いていることが多くなってしまうことに気付き、ハッとしました。大人が導くのではなく、受け入れながら子どもが主体となれる保育を目指していきたいと思います。本日はありがとうございました。
- 51 誰かの興味・関心を広げていくということ、場への環境構成をすることが印象に残りました。1人だから・・・と後回しにするのではなく、それをきっかけにむしろチャンス！！と思い、面白く楽しい保育をしていきたいと思いました。子ども主体の保育！！を1番に考えながら、先生の気持ちを伝えていきたいと思います。
- 52 現場での実践例を知ることが出来てよかった。
- 53 昨年に引き続きお話が聞けてとても参考になりました。特に大人と子どもが同じスタンスでとの言葉が心に響きました。特に行事の時に自分も同じ気持ちで、子ども達と作りあげていければと思いました。ありがとうございました。
- 54 子どものやってみたいを起点にわかり易く説明して頂き子どもの主体性から興味、関心の持続へと導き、環境設定の大切さ等保育現場で生かしていけるよう園のカリキュラムを見直していきたい。
- 55 接続期の難しさや大切さが改めて感じられ、今後の保育に活かしていきたいと思います。本日はありがとうございました。

【保育園】

- 1 「やってみたい」という気持ちは幼児期から小学校まで重要で、日頃の保育を振り返るよい機会になった。子どものモチベーションは環境によって大きく左右されることを小学校の例を見る中でとても感じた。
- 2 自園でも自分らしさを追求し、何を学ぶかよりどう学ぶかを大切にしています。でもとても難しく日々試行錯誤をしています。学びは知識のつめこみではなく、あこがれへの挑戦ということが第一歩なのかと感じました。
- 3 具体的な指導例をお話していただきとてもわかりやすかったです。園では子ども主体の保育を心がけています。学校に入学しても園での生活が全く変わってしまうのではなく、架け橋プログラムを考えてスムーズに学校生活を送れたらと願っています。
- 4 初めてこの研修会に参加させて頂き、とても有意義な時間を経験させていただきました。幼保からの接続として何をすることが重要なのか、他の研修会では感じることでできない新たなことを学ぶことができました。子どものために何が必要か、ただやるだけではではなく、子どもたちが本当に“やりたい”と思えるように環境を整えていくこと、子どもの主体性を保証していくことがより重要だと思いました。今後の保育にぜひ活かして、より“やりたい”“たのしい”が引き出せるといいなと感じました。
- 5 幼・小の接続について、自園の保育をふりかえったり、小学校の状態なども勉強になり、良かった。
- 6 主体的な遊び、やってみたい子どもの意思を尊重して保育の中に取り入れる。
- 7 小学校の連携を大切にしていって、子どもたちが安心して小学校に行けるようにしていきたいです。入学後も学校との連携ができると良いと感じました。
- 8 小学校の行きしぶりが多く、各小学校がとても悩んでいる事が分かった。その為にどのようにスタートさせているか考えている。勉強してやる事がとても分かった。
- 9 子どもたちのやりたい、主体性を大切にする事がとても大切だとあらためて感じました。具体例を提示されていたのでとても理解しやすかったです。
- 10 良かった点→主体性がとても大切だということを具体的な例を教えて頂きすごくわかりやすかった。
- 11 今の保育の姿勢はあまり間違っていなかったことを確認できた点。
- 12 幼児教育と小学校教育を繋ぐカリキュラム・マネジメントのあり方について改めて見直す良い機会になりました。小学校での事例はとても興味深かったです。保育の中でも、つい保育者のねらいにそった活動ができるような誘導をしまいがちなのですが、それが本当に子ども達の“やりたいこと”なのか考え直さないといけないと感じました。
- 13 小学校との接続に向けた連携が出来ていなかったため、改めて接続を見直した編成や見通しをもつ大切さを感じました。また、カリキュラムを一から作るのではなく、活動が子ども達がやりたいことなのか、活動にてきた場所、環境なのか等を見直すという事が印象に残っています。子どもの主体性を大切にして小学校への接続が出来たらと思います。
- 14 保育士として子どもの声に寄り添い子どもの主体性を大切にする保育をしていきたいと改めて強く思った。

- 15 お忙しい中、研修ありがとうございました。先生のお話を聞いて自分の保育を見つめ直すよい機会になりました。今後の保育に少しでも取り入れられるように、まずは子どもたちのやりたいことを見つけてみたい。一緒に考えたり、面白がったりし、子どもと向き合って保育に取り組みたいと思います。
- 16 子どもの“やってみたい”を大切に！興味・関心のあることは子どもと積極的、主体的な保育。（遊びの展開、学びの展開）工夫が大事。環境、場の設定。
- 17 共同エージェンシーについてお話を頂いて、日頃の自分の保育を見直したいと思いました。子どもたちと対等な関係でいられるよう心掛けていきたい。年長児の担任なのでこれからやるべきことがたくさんあるけど、子どもたちの思いを大切に日々過ごしていきたいです。とても学びになりました。貴重なお時間をありがとうございました。
- 18 大変よい勉強になりました。机に向かって勉強するというイメージの小学校生活ですが、スライドの中にあったような環境があると、子どもたちは安心して主体的に生活できるというお話、その通りだと思います。ぜひ実現して頂きたいです。
- 19 環境による保育を日々大事にしていますが、活動においては、まだ大人の意見や都合が優先されているようなところもあるため、子どもとの対話を更に大切にしていきたいと思いました。小学校へも積極的に連絡を取り、意見交換していけたら良いと思います。
- 20 共主体性をとり入れた具体的な保育・教育等々全て大変参考になりました。これまでのとりくみを更に広げていきたいと思います！

【小学校】

- 1 幼稚園、保育園の先生方が伸ばしてくれた能力を小学校でも生かしながら授業を展開していく必要があると改めて実感できる内容でとても勉強になりました。
- 2 授業展開に幼児教育の視点を生かしていくことの大切さに気付かされました。一見すると、子ども達が好き勝手している様に見えてもそこから学びに発展したり、子どもの発想を学習につなげたりしながら、子ども達に学ぶ楽しさを実感させていきたいと思います。子どもの「やってみたい」「もっとやりたい」という気持ちを大切にしていきたいと思いました。2学期からの授業の中で少しでも実践できるようにがんばります。
- 3 教育の本質、子どもが自ら“やってみたい！！”という気持ちを後押しする教師になりたいと思いました。もっと柔軟に、ひとつの授業（単元）を考えていきたいと思います。
- 4 幼児期で育ったことを小学校でも大切に「架け橋プログラム」を意識しながら更に成長させていきたいと考えました。
- 5 “接続”の具体的な事項についてよく知れました。まだ、小学校側での進みが足りないと思います。教員側の意識改革ですね。
- 6 本日はありがとうございました。どうしたら子どもたちのためになるのか考えた上で、子どもの様子や声に寄り添って今後も関わっていけたらと思えるような話でした。幼稚園や保育園でつちかってきた経験をもとに環境作り等に配慮して行っていこうと思います。
- 7 子どもが自ら学ぶように環境を整えることが大切だと思いました。ぬいぐるみを心のよりどころにした事例にはすごく共感しました。経験から同じようにぬいぐるみを持参させた児童が居て、そのぬいぐるみを持つことで安心して教室に一時入ることができました。そのよう

な配慮も幼小のつながりとして大切なのだと改めて実感しました。また、授業の中において場の設定の重要性をすごく感じました。

- 8 保幼小の連携の今後のあり方について、大変参考になるお話でした。現在の状況をよく把握し、本校でもスタートカリキュラムの見直し（架け橋プログラムへ向けて）と一層の連携強化をしていきたいと考えています。

【懇談会メンバー】

- 1 効果的な接続について、具体的イメージ（どう実践していくのか）を持ちにくかったが、安里先生のお話を通して目指す方向が分かった。まだまだ聞きたいことも多くあり、次回もお願いしたいです。

【その他】

- 1 幼保小の接続を考える際に一緒に授業づくりをしてもおもしろいと思いました。
- 2 小学校での場の工夫の仕方や合科的な学びの重要性を学び、興味深く、自分で研究していきたいと思った。

【未記入】

- 1 子どもたちの「やってみたい」という気持ちが大切だということそれを実現できる環境があることが大切だと分かるお話でした。小学校での話、繋がりなどもとても分かりやすかったです。自分の保育は子どもたちにとってどうなのか、これからももっと考えていきたいと思っています。

5. 今後、研修会で希望するテーマや講師等ございましたら、ご記入ください。

【幼稚園】

- 1 幼保小の連携についてより深めていきたいです。発達の違いのあるお子様（発達障害）についての知識をより深められる内容のものもありがたいです。
（幼、小との連携の仕方についてなど）
- 2 保育の中で実践して使えるアイデアを教えてもらえたら嬉しい（制作面など）
- 3 会場がとても暑かったです。下の方の席と上の方の席でかなり温度がちがうのではないのでしょうか。上の方の席は汗が出ました。
- 4 実際に体を動かして学べる鈴木巽さんやケロポンズさんの研修も興味があるし、すぐに保育の場で実際にできると思います。
- 5 主体的保育の具体的な始め方や取り組み方、今の保育のやり方からどのように変えていけば良いのか知りたい。
- 6 「〇〇した方が良い」ことは今までの研修会で学んだが、実践する際の実例や導入を用いたお話が聞きたいと思いました。予定されている保育時間では実現が不可能なものも多いので、実践に繋がるテーマで学びたいです。
- 7 会場が暑いので空気の流れが悪く、人が狭い中集まっていたのでとても息苦しいです。体調

悪くなりそうでした。

- 8 このテーマをもっと深めていけると良いと思います。
- 9 子どもが主体的な保育、活動の進め方
- 10 研修会ありがとうございました。希望する研修テーマは「特性のある子への発達支援」です。
- 11 また、先生の講演をお聞きしたいです。
- 12 公開授業や公開保育だけでなく、互いの体験、児童になって立場を変えて体験して、そこから見えてくるもの等、参加型があるといい。
- 13 来年度は小学校の先生方にも沢山参加して頂き、幼小接続カリキュラム内容について理解が深められれば良いと思います。吉永先生のお話とても分かりやすかったです。
- 14 吉永先生の話をもっと聞いてみたい。絵本について。
- 15 子どもからの暴力や暴言をどう受け止め、対応することがより良いのか。
教員の働き方について、改善する方法など職場の文化や古い習慣をより善く改善する方法があるのか。

【保育園】

- 1 吉永先生の講義をより深く受けたいと感じました。
- 2 保育の中でのカリキュラムの立て方
- 3 健常者だけのクラスの進め方の話が多いので、養護教諭の内容を聞いてみたい。
- 4 昨年のように後日配信をしていただけましたらありがたく存じます。本日参加できなかった職員とも共有したく思います。次年度も吉永先生のお話を伺いたいです。

【小学校】

- 1 幼保小で話し合う機会をもう少し多くほしいです。年間の研修で限られた回数では、なかなか子どもの様子、施設等の様子がみきれません。強制的に作ってもらえると助かります。
(つい後回しになってしまうので)

【その他】

- 1 本市の架け橋プログラムのカリキュラムの作成、見直しに吉永先生を招へいするといいと思います。

東松山市幼児教育研修会 アンケート結果【YouTube 視聴者】

配信期間 令和6年8月26日（月）午前10時頃から

令和6年9月 3日（火）午前 0時頃まで

視聴回数 28回

アンケート回収 8枚

アンケート回収率 28.6%

1. 所属

	幼稚園	保育園	小学校	懇談会参加者	その他	未記入	計
人	5	1	2	0	0	0	8
%	62.5	12.5	25.0	0	0	0	100

2. 年代

	10代	20代	30代	40代	50代	60代	その他	未記入	計
人	0	3	2	1	2	0	0	0	8
%	0	37.5	25.0	12.5	25.0	0	0	0	100

3. 参加してみた感想

	大変良かった	まあまあ良かった	ふつう	やや物足りない	物足りない	未記入	計
人	4	2	0	0	0	2	8
%	50.0	25.0	0	0	0	25.0	100

4. 良かった点、物足りない点、印象に残ったことなど、ご意見をお聞かせください。

【幼稚園】

- 1 吉永先生の講義は、以前にも一度受けたことがあり、その時もすごく話が聞きやすいという印象でした。遊び＝学び、遊びが学びに繋がるということを根幹として、幼保小のよりよい接続が実現するような保育を今後も目指していきたいと思います。
- 2 幼稚園と小学校の現場を知っている方からの話は、とても自分の中に入りやすく、わかりやすいと感じました。年長の担任をしていると、小学校に上がる際のギャップ等が大きいところが心配になります。話の中に出てきた小学校の授業の様子では、遊びを通して学びに繋がっているところがあり、思っていた授業と良い意味で違っていて驚きました。架け橋プログラムについて、幼稚園でもしっかり考えながら、子ども達が安心して進学していけるよう

にしていきたいと思いました。

- 3 「架け橋プログラムのカリキュラム・マネジメント」ということで、小学校との連携について学ぶことができました。幼稚園、保育園、小学校の連携と言われても、実際にはどう動くことが良いのか等、わからないことが多く、小学校の先生からこうして欲しいということは耳にしておりましたが、幼稚園でやってきたことをそのまま引き継いで欲しいと考えることに自信を持ってということが印象に残りました。
- 4 小学校の話も交えたお話で、乳幼児期の他、児童期の関わりの視点からも話を聞くことができました。幼稚園での生活が小学校入学までの準備期間にもあたりますが、幼稚園での3年間での遊びの援助方法、安心できる環境の作り方、こんなことをしてきたという過程を上手く引き継ぐことがとても重要であると考えました。また、遊びは乳幼児期に関わらず、良い人間関係づくりに深く根付いており、主体的な自己発揮を求める上でも大切なことだと思います。幼保小で、お互いを理解し合いながらの連携の大切さをより深く学ぶことができました。
- 5 研修会での講演をありがとうございました。小学校との接続の状況のお話を聞いて、まだ実施されていない幼稚園さんも多いことに驚きました。今回のお話を聞いて、改めて小学校接続の重要性を再認識することができたので、今後の保育に活かしていければと思っています。

【保育園】

- 1 幼児期に学んだ事や経験した事が小学校で生かされ、繋がっている様子が写真を見てわかり良かった。幼児期にいろいろな事を経験させてあげたい。そして、子ども達の主体性も大切にしていきたいと思った。吉永先生もおっしゃってた通り、子ども達の意見を聞きながらもカリキュラムに合うような声かけをしてしまう事もあるので気をつけていきたい。

【小学校】

- 1 スタートカリキュラムから架け橋期のカリキュラムへという題に興味をもちました。幼稚園や保育園の先生の方々が小学校に向けて様々な視点において接続を意識した活動をしていることを知りました。また2030年に向けた生徒エージェンシーという言葉もはじめて知りました。自分の人生を自分でよくしていくという意識を育てることが必要なのだと思いました。活動や直接的体験を通して、共主体性を発揮できる授業を目指していきたいと思います。
- 2 幼児教育の“幼児期の終わりまでに育ってほしい姿”を踏まえて、小学校教育で主体的に自己発揮できる方法を考えることでは、わかりやすい説明で、遊び（学び）に対する援助の方法や遊びや学びが展開していく活動の工夫など、イメージしながら理解することができました。今後の教育活動に生かすと共に、学校でも情報共有していきたいと思います。

5. 今後、研修会で希望するテーマや講師等ございましたら、ご記入ください。

【幼稚園】

- 1 保育に携わる先生方は、座学で90分、話を聞くよりも実践的で動きのある研修のほうが実になると思います。
- 2 今回のような幼小接続に繋ぐために参考になる内容の研修会や日頃の保育にすぐに実践できる内容の研修に参加したいと思います。

【保育園】

- 1 小崎恭弘先生「幼保小」小学校に向けて、小学校における要録が生かされているのか？

【小学校】

- 1 私は小学校教員なので、幼稚園や保育園の先生方がどのような指導計画をたてて指導にあたっているのかが気になりました。可能であれば実際の指導計画を見たいと思いました。

令和 6 年度 第 2 回幼保小三者連絡会実施報告

- 1 テーマ 「学びや生活の基盤をつくる幼児教育と小学校教育の接続について
～幼保小の協働による架け橋期の教育の充実～」

- 2 開催日、会場及び実施内容

開催日	会場園	実施内容
2 月 4 日（火）	松山幼稚園	○受付 9:45 ～ 10:00 ○公開保育 10:00 ～ 11:00 ○研究協議 15:15 ～ 16:45
2 月 5 日（水）	あっぷる幼児園	○受付 9:45 ～ 10:00 ○公開保育 10:00 ～ 11:00 ○研究協議 13:00 ～ 14:30 (松山市民活動センター)

- 3 参加人数（公開保育参加人数）

	懇談会 参加者	幼稚園	保育園	小学校	その他	計
松山幼稚園	4	12	13	4	1	34
あっぷる幼児園	5	6	24	2	1	38
計	9	18	37	6	2	72

- 4 研究協議記録及びアンケート

別紙のとおり

令和6年度幼保小三者連絡会 研究協議記録

日にち 令和7年2月4日(火)

会 場 松山幼稚園

研究協議において各班から出た主な意見・感想

1班(座長：峯氏)

- 1 こどもたちがゲームを繰り返しやり込まれていた。算数的要素のある数を使った遊びにすることで、数に親しみをもち、学びながら楽しむことができると感じた。(認こ)
- 2 「動物園へ行こうよ」で、こどもたちが上手にグループを作ることができない時に、担任が一度ゲームを止めて、こどもにどうするか考えさせ、議論が生まれるようにしていた。(保育園)
- 3 やりぬく力、思考力をつけることが幼児教育の基盤であるため、大人が全てを教えるのではなく、こどもに考えさせ、こども同士で意見を出しあえる教育が必要。(幼稚園)
- 4 遊びの中で考える場面を担任が作るようにするとよい。(幼稚園)
- 5 年長の園児を見て、こどもたちは遊びの決まり事を覚えていくと日々感じる。(幼稚園)
- 6 こどもたちが探求心、研究心を育める遊びを提供していく必要がある。(幼稚園)
- 7 幼児教育での遊び方によって、小学校入学後の自主性や柔軟な対応力を伸ばすことにつながる。(幼稚園)
- 8 教育者が、幼児教育と小学校教育の接続の意識を持たなければならない。(幼稚園)
- 9 外遊びでは、それぞれが好きな遊具で遊んでいる園児が多くみられた。鬼ごっこ等の集団遊びの時間はどのくらい設けているのか。小学校では、行間休みや昼食時間など自由時間は少なく、遊びの時間ではなく、息抜きの時間になる。自由に制約なくこどものやりたいことで遊び込むことは幼児教育にとって非常に重要(小学校)
→年少、年中はルールを覚えさせることから必要。教育者が遊びに入り込んでルールを覚えさせるようにしている。遊びの中で教育者が柔軟に対応することが必要。
- 10 環境が樹木や虫など自然に恵まれていれば、こどもたちは感性を高められる。五感を使った遊びにつながる。(幼稚園)
- 11 幼保小すべての職員が幼児教育と小学校教育の接続を意識して教育に携わる必要がある。
- 12 小学校入学後はこどもたちを男女ともに「さん」付けで統一して呼ぶ。幼稚園・保育園ではどのような呼び方をしているのか(小学校)
→・家庭で園児が保護者に呼ばれているニックネームを基にしている
・くん付け、ちゃん付け、呼びすて等、統一していない。場面によって使い分けている
・幼稚園や保育園で、ニックネームで呼ばれていたこどもが、小学校入学後、急にさん付けで呼ばれると困惑してしまう。統一しすぎることが接続において壁となってしまう。
・こどもは家庭で呼ばれている名前で呼ばれると安心する。
・環境に適応して教育を工夫していく必要がある。一人ひとりの成長に合わせて呼び名を使い分けることは育ちにおいて必要

2班（座長：竹内氏）

- 1 猛獣遊びの中から、算数につながる（保育園）
- 2 こどもには力があるのに、母親達の心配がこどもに伝わってしまっている。まずは、自分から親に伝えることが大事。（保育園）
- 3 母親も自立していかないといけない。困ったことは自分で言えるように。最近は大人が介入し過ぎ。こどもには力がある。（保育園）
- 4 親の納得いく結果でないと終わらない（小学校）
- 5 ゲームの約束を理解し、友達と協力しながら仲間づくりを楽しんでおり、接続期に必要な事をねらいにしていた。また、遊びを通して数を理解することもしていた。就学前、数の概念は目に見えるような形にして伝えることが大切。（幼稚園）
- 6 4歳児は、トラブルが起きても自分の気持ちを自分で伝えることができるように担任が見守るようにしている。どうしても納得できない場合は、寄り添いながら話を聞いたりして納得いくまで話をし、対応している。（保育園）
- 7 保育はつながりだと思う。年少では自分のことは自分で出来るように年間を通して保育を行っている。年中では、自分で意見を先生に言う、友達に対しても何か伝えたいことがあれば自分で言うことを意識して保育している。年長児は、色々な問題を自分たちで解決できるように話し合いの時間を日常の保育の時間で設けている。（幼稚園）
- 8 最近、小学校によく訪問させていただいている。小学校は全てが大きく、園児には不安である。その不安に対して和らいだらいいな、楽しみにワクワクして学校に行いけたら良いなという思いで、校長先生にお願いして、お庭だけでいいので入らせてくださいというのが最初だった。マラソン大会では、「みんなも走ろう。」と先生が誘ってくださり一緒に走り、遊具に乘れないと小学生たちが手伝ってくれた。こども達は「また行きたい。」と言っている。「学校は楽しいことが待ってるんだよ。お友達がいっぱいできて楽しいところなんだよ。」ということをと植え付けたい一心でやっている。（幼稚園）
- 9 不登校だった中学生が、家庭科の授業で幼稚園行くことになったら、家庭科の授業だけ登校するようになったと聞いた。園児と一緒に遊んでいる姿は普通で、何もなかったかのように元気に遊んでいた。中学生の心を開かせる、こどものパワーは素晴らしい。（幼稚園）
- 10 「受け入れられること」は大事である。
- 11 中学生が走り回って鬼ごっこをする、こんな元気に遊んでいる姿を学校の先生が見たら喜ぶと思う。そのくらい遊びこんでいる、それはとても大切なことであって、小学校との接続でも大切な部分だと思う。
- 12 ちょっとしたことでも躓くと不登校になる子もいる。そういうのが是非なくなって欲しいと思う。
- 13 学校に遊びに行きたいが、学校は忙しそうで遠慮がある。（幼稚園）
- 14 敷居が高いとは思わず、相談していただきたい（小学校）

3班（座長：小佐野氏）

- 1 先生とこどもの関わりの中でたくさんの笑顔が見られ、やりたい気持ちがいろんな場面で出てきていた。それを上手にトラブルなく、伸ばそうとしている先生の姿が見られた。
- 2 先日、近隣の小学校へこども達と行く機会があった。最初は表情の硬いこども達だったが、体育館に行ったら馴染みのある遊びを小学生と一緒にできたことで、表情が柔らかくなった。「連携」というと硬い。具体的にどんなことをしていけばよいのか考えたい。
- 3 意欲的にこどもたちは取り組んでいた。
- 4 こどもたちも主体的に活動し、幼児期の生活の中では対話が当たり前のようにある。
- 5 環境を通して行う教育には、対話的で主体的にこども達が関わっていけるような取り組みが必要。
- 6 よそ行きの顔になるのも社会性の発達である。
- 7 「いいと思うよ。」っていう何気なく言った言葉があると、こども達も工夫し、失敗しても大丈夫と思える。
- 8 今日のような機会には、低学年の先生の参加が多く、高学年の先生が参加されない。学校全体の話として、協議を進めていく必要がある。大きい学校になればなるほど難しいのであろう。
- 9 幼稚園・保育園との接続的な話になった場合は、どちらかという低学年の先生におまかせする傾向がある。生活科も2年生までしかない。
- 10 幼児期に育った姿があるからこそ、小学校でも教育ができていく。
- 11 5月頃、小学校の先生にどんなことが大事なのかと聞いたら、登下校中など大人のいない場でのトラブルを自分の言葉で説明ができる力がついていることだと伺った。逆に言うとうちの幼児期には計算能力とか綺麗に字を書くなどよりも、そういう力を育てることのほうが大事なのかなと思う。
- 12 最初はうまくいかず失敗しても、失敗した時にどう考えて動けるかが大事。幼児期に守られた環境の中でしっかり育った力が、小学校に入ってから生活していく上で生きていく。
- 13 以前、小学校の先生が、登下校中等の大人のいない場でのトラブルを説明する力がない子が多いと話していた。そういう力が必要だと感じた。人間関係も幼児期に育てるのが大事。保護者にも大人のいない場でのトラブルを説明する力がこどもに必要とお伝えした。
- 14 「数」というのは、勉強のためにあるのではなく、生きていくために必要だから数があるということをこども達を見ていると感じる。
- 15 幼児期で大事なのは字が書けることよりも興味を持つこと、何かやり始めたときに最後までやり抜く力があること。意欲があり、その意欲を満たしてもらってる幼児期があるからこそ、小学校に行って学びに対する意欲や苦手なことに取り組もうとする意欲につながる。
- 16 スタートカリキュラムを受けている教科は生活科になる。生活科は2年生までしかやらない。基本的には1、2年生の担任が年長としっかりと連携を取るようになる。6年生はリーダーとして1年生の面倒をみる。2年生は1年生を引っ張る。接続という観点では

2年生が一番関わっていると感じる。東京等の学校で接続に使える時間は総合の時間。学校独自のカリキュラムがあるので学校次第だと思う。

- 17 喜びの体験があるからこそ、勉強になったときに隣の子と一緒に活動できる。たくさんグループやペアを経験しないとできないと思う。小さい頃の積み重ねがペアやグループ学習のもとになっている。

令和6年度幼保小三者連絡会 研究協議記録

日にち 令和7年2月5日(水)

会 場 あっぷる幼児園

研究協議において各班から出た主な意見・感想

1班(座長:峯氏)

- 1 幼児期の発達の特性を踏まえておくこと、遊びを通して学ぶことが幼児教育では重要。これまで、幼児教育と小学校教育の一貫性が取られていなかったこと、その一貫性や連続性が踏まえていなかったために学校嫌いのこどもが増えている。幼児教育では一人ひとりのこどもの成長発達を大事にして育ててきている。当市では、昔から当懇談会があり、公開授業や公開保育の場があるので、お互いに理解しあったうえで育てていきたい。(懇談会メンバー)
- 2 人生においてウェルビーイングの向上が課題である。身体的、精神的、社会的に幸せな状態にしてあげていくことが重要。日本では身体的には諸外国に比べて上位であるが、精神的、社会的には最下位に近い。(懇談会メンバー)
- 3 「こどもそれぞれの興味関心や、一人ひとりの個性に応じた対応で質の高い学び」という観点から、環境を通して行う教育について考えると、生活科の昔遊びを通して自分が感じたことを文字にしていくという点が小学校教育なのかと考えた。楽しかった経験を積み重ね、小学校へ送り出していただけると良いと思った。(小学校)
- 4 一番大きな違いは、幼児教育は遊びを通して学んで成長していくが、小学校は教科書中心ということ。そのギャップをどのようにつなげていくのかをこれからの小学校教育の課題と考える。(懇談会メンバー)
- 5 4・5歳児では育ちの違いがある中で、4・5歳児が合同保育していたが、各年齢のねらいの違いを知りたいと思った。育ちの違いがあるこども達が小学校でどうなっていくのか、いつも気になっている。(保育園)
- 6 4・5歳児の発達の入り混じったところで、助け合いが出てくる。微妙に保育の違いはあるが、いたわる心が育つ。(保育園)
- 7 園によって、真逆の保育を行っている。そういうこども達が同じ小学校に行く場合、一律に指導するのではなく、一人ひとりの個性に応じた多様で質の高い学びを引き出す観点からと考えた時、2年生までという長期スパンでスムーズな接続の方法を考えていくべきである。(懇談会メンバー)
- 8 真逆の中で育ったとしても、それもまたこども達の個性であり、鍵盤ハーモニカができるこども達は音楽の時間に輝き、体をいっぱい動かして遊んだこども達は、遊びの時間に輝くことができる。それぞれ培った経験や知識を小学校に持っていき、知らなかったこども達が混ざり合っていく。それぞれで輝く時間があるといいと思う。(保育園)
- 9 これこそが幼児教育のあるべき姿であり、それを中心に学校側も伝えていかないといけない。育ちがバラバラなこども達が入学しても基本的には受け止める必要がある。

- 10 ボール遊びでは、先生に頼るのではなく、自分達で白線を引いてルールを作り出していく姿がある。私たちはこれがこども達の育ちだと思い、受け止めている。保育者はこどもをどう支援し援助するかを考えていくことが必要。(幼稚園)

2班(座長：中村氏)

- 1 合奏が小学校のレベルを超えていた。時間・手間ひまかけてあげる大切さを感じた。色々特色の園からの差があり、入園時の差が凄く文字についても漢字を書ける子や縄跳びの差もあるが、文字が書けなくても友達と上手に関わって一緒になって上手く適応しているので心配はない。大切なことは自信を持たせること。話を聞く、困ったときに困ってると言えることが大切。1年生の始めは授業の前に緩くゲームしたり、言葉遊びをしてから開始している。
(小学校)
- 2 ①色々特色の園からの差があり、入学時の差が凄く文字についても漢字を書ける子や縄跳びの程度にも差がある。文字が書けなくても友達と上手に関わって一緒になって上手く適応しているので心配はない。
②小学校まで歩いていくので体力が大切
③異年齢で関わっているところも良かった。こどもの数が少ない中、小さい子の面倒を見ると優しさが芽生え、いじめに繋がらない。集団の中でのコミュニケーションが大切。
④興味関心、意欲を出させ、自信を持たせるにはこどもが初めての事に意欲を持たせて欲しい
- 3 ①話を聞く、困ったときに困ってると言えることが大切。
②道徳心を培うためにも年齢の合った絵本・おはなしの読み聞かせが大切。沢山読んであげて欲しい。
③小学校ではさん付けなので年長になったらちゃん・くん付け以外の呼び名もあるという意識付けも必要。
④小学校に入ってから給食が大変。給食の時間に限りがあるので 家庭との話し合いも必要。2年生は給食時間20分位。給食時間に限りがあることを知って欲しいが、給食時間については、1年生は時間はゆったり取っている所以時間で食べることにこだわらなくて良い。

3班(座長：竹内氏)

- 1 0歳児から段階を踏み、積み重ねてきた教育が4歳・5歳の成長に表れていると感じた(認可)
- 2 合唱、合奏では、こども達は集中しながら取り組み、楽しみながら技術を高めていることができていると感じた。(保育園)
- 3 小さい頃から、年長組を見て育つため、自然と年長組は年下のこども達の手本となり、手助けをするようになる。(保育園)
- 4 小学校就学後の好奇心は幼児教育で触れた機会が基盤となっているため、幼児教育での遊び

が非常に重要であると感じた。(幼稚園)

- 5 幼保小の連絡会であるため、小学校の先生の出席が少ないのは残念。小学校の教員の意見を取り入れたい。(保育園)
- 6 ルールのある遊びを行っている。発達段階によってルールが理解できないこどももいるため、こども同士で話し合いながらルールを決めていくようにしている。(保育園)
- 7 こどもがやりたいことを自分で発見でき、こどもの興味関心を実際に実行できるような環境づくりを念頭に置いている。(認可)
- 8 小学校就学に向けて、時間を意識して行動させるようにしている。(幼稚園)
- 9 遊びの中でも決まり事を意識させるようにしている。年少・年中クラスは年長クラスを見てルールを身につけていく。(幼稚園)
- 10 興味関心の入り口は遊びから始め、次第にお遊戯会や合唱会などに向けての練習では真面目に取り組むといったメリハリ、積み重ねを大切にしている。(保育園)
- 11 年長クラスは小学校就学に向けて自主性、協調性のある行動が求められる。(保育園)
- 12 乳児期から簡単な約束事の声がけをしていき、年齢を重ねてルールを理解できるようにさせている。(保育園)
- 13 こども同士のトラブルが起きた際、まずはこども同士で話し合いをさせ、その後担任が介入するようにしている (保育園)
- 14 活動後の表現力が小学校では必要になってくるため、幼児教育では自分の意見や気持ちを表現できる力を身につけてほしい。(小学校)

幼保小三者連絡会 アンケート結果

日にち 令和7年2月4日(火)

会 場 松山幼稚園

参加者 公開保育 34人

研究協議 34人

アンケート回収 25枚

回収率 73.5%

1. 所属

	幼稚園	保育園	小学校	その他	計
人	9	13	5	0	27
%	33.3	48.2	18.5	0	100.0

2. 参加回数

	初めて	2回目	3回目	4回目以上	計
人	12	6	5	4	27
%	44.5	22.2	18.5	14.8	100.0

3. 参加してみたの感想

	大変良かった	まあまあ良かった	ふつう	やや物足りない	物足りない	未記入	計
人	16	9	1	1	0	0	27
%	59.3	33.3	3.7	3.7	0	0	100.0

4. 良かった点、物足りない点

(幼稚園)

- 1 自分が今後、どのように保育をしていったらよいか考えるきっかけになった。
- 2 他園での取り組みや小学校での「このような力が育ってほしい」などの話をもう少し聞きたかったです。
- 3 小学校の先生方のお話を聞ける機会を得られてよかった。もっと詳しく聞きたいこともあったので、先生たちだけで話す時間もあると良いと思いました。
- 4 小学校の先生も参加していただいていたので、小学校での違いや接続の壁について知ることが出来ました。幼・保・小の先生が集まり、話しが聞ける機会がなかなかないのでこのような機会が頂けて良かったです。幼稚園では“こどもが考える力”が発揮されるように環境構

成を考え直したり、保育をもう一度見直したいと思いました。

- 5 普段見ることができない保育を見ることができ、新鮮でした。幼稚園さんによって、特色等ありますので、色々と学びになりました。お忙しい中ありがとうございました。また、午後の協議会では様々な話を聞くことができ、小学校との違いや連携等、今回の連絡会で沢山学ばせていただきました。
- 6 他の園の保育を見学することで、新しい発見があったり、勉強、参考になることがあるので、とても良かったです。保育の内容だけでなく、環境をみることができるので、自分の園と比べて色々と考えることがありました。協議の話し合いでは、幼児教育と小学校教育の接続について、壁を感じる部分が多いため、どうすればその壁を取り払えるか、という深いお話もできました。
- 7 10時過ぎからの公開保育のため、11時までとなると時間が短いように思います。せめて1時間半はほしいかな・・・？と思います。「良かった点」・・・こどもたちの育ちが良く理解できて楽しかった。ふだんあまり見られない外遊びが見られて良かった。友だちと関わる姿、一人ひとり充実しているようでした。
- 8 小学校教育との接続がテーマでしたが、学校の先生の参加が少なく、聞けないことが多かった。
- 9 自園での保育環境や保育内容が違うので、大変勉強になりました。協議での時間がもう少し長くって頂けたり、小学校の先生の参加があるとより勉強になると感じました。又、朝の自由場面等も見せて頂けるとありがたいと感じました。

(保育園)

- 1 施設の枠を超えて話せたこと。
- 2 幼・保・小三者連絡会の必要性やなぜ今重要視されているのか根本的なことを学習出来たと思いました。
- 3 幼稚園の先生や小学校の先生のお話も聞けてよかった。保育の様子も見させて頂き、とても勉強になりました。貴重なお時間をありがとうございました。
- 4 年長組の保育を中心的に見学させていただき、保育者がこども一人ひとりをよく見ている為、こどもに対して遊びを通して学びを広げることができるのだと感ずることができました。今後の保育に参考させていただきたいことが多く、大変勉強になりました。
- 5 小学校、保育園、幼稚園でそれぞれの疑問や情報を交換することができて良かった。自分とは違う意見だったり、やり方を改めて知ることができ、これからの保育に活用していこうと思いました。
- 6 幼・保⇄小 接続がとても大切だと改めて感じました。
- 7 松山幼稚園さんでの実際の保育を見ることができて、とても良かったです。自分が今、担任しているこども達と同学年のクラスを中心に見学させていただきましたが、ゲームのとり組み方などとても参考になりました。1人の担任の先生ですすめていて、すごいなと思いました。ありがとうございました。
- 8 学校の先生のお話を聞けてよかった。太田先生の関わり方や声掛けの仕方を参考にして保育していきたい。

- 9 他園を見る機会がなかったので、こども達の普段の様子を見ることが出来て参考になりました。
- 10 協議の中で小学校生活をスムーズに送るために何が必要なのか、数、文字というより幼少期の間に友だちと沢山言葉を交わすこと、困った経験や考える力(失敗した→じゃあどうする?)を育むことが大切と改めて気づけたこと。今後自分の園でも引き続き大切にしていきたいし、活かしていきたいと思いました。
- 11 小学校の先生や幼稚園の先生と話し合うことがあまりないので、接続についての話を聞いたり、こども達の様子から話をふくらませることが出来たので良かった。
- 12 色々な話ができてとても良かった。もっと話をする時間がほしかった位です。
- 13 先生もこどもも楽しそうに遊んでいるところが印象的でした。もっといろんな園の話を聞きたかった。

(小学校)

- 1 接続について活発に話すことができたのが良かったです。
- 2 保育を実際に見学できたところが良かった。できれば、時程をまとめて実施してもらいたい。集団遊びの場面が見られて良かったです。年少年中は遊び以外は見られなかったもので、作業なども見てみたかったです。
- 3 協議会にて、幼・保・小三者が意見を述べ合う中で、こどもにとって「壁」が多くのところにあることが分かった。「こどもまん中」において一律な指導ではなく柔軟に対応して接続させていくとよいことを再確認できた。「自由遊び」は、とても大切な要素があり、小学校各教科へ接続していく部分が多くあると分かった。
- 4 小学校の方で、幼稚園・保育園との交流会があっても敷居を高く感じていましたが、幼稚園・保育園でも小学校に対して同じように感じていることを知ることができ良かったです。幼稚園・保育園でできていることが小学校ではできていないことを前提に始まっていることが多いと知り、さらにお互いの見合える、共有しあえる機会をもちたいと思いました。室内での活動の様子ももっと見てみたいと思いました。
- 5 年長さんだけでなく、年中、年少、2、3歳児クラスまで見ることができて勉強になりました。保育の中での小学校教育との接続を改めて考え直すことができました。これからの教育活動に生かしていきたいと思います。ありがとうございました。

5. 今後の三者連絡会の実施方法等についてご意見、ご要望がありましたらご記入ください。

(幼稚園)

- 1 活動をしていた担任にも話をきけると良いなと思いました。
- 2 小学校の先生がもっと充実すると良いと思った。また、公開保育が1時間だと見る時間が少ないのではないかと思います。
- 3 今回感じたことは、小学校側も幼稚園・保育園側も、接続については前向きで、繋がりを意識している、ということです。それでもまだ敷居が高いのはなぜなのか、全体としてもっと接続について考える場があったほうがよいのではないかと思います。
- 4 久しぶりに連絡会に参加させていただきました。自園の同年齢の子と比較してしまうことが

多いですが、楽しく公開保育を見学することができました。実施時期について・・・できれば寒の内でない方が良いと思います。理由：感染症が多く発生する年度末に近い行事等が多い。その他：幼稚園や保育園が公開する時は多くの小学校の先生に、4月から入学するこども達の現状をみてもらうことが望ましいと考えます。

- 5 熊谷市が行っている幼保小中連携があってもよいのでは？

(保育園)

- 1 幼・保・小三者連絡会の回数や周知をもう少し沢山出来たらと感じました。小学校の先生方の参加が増えると深い学びが出来ると思いました。
- 2 実際に保育を見ることができるのは、とても参考になり、良いと思いますが、受け入れる側の準備から当日まではとても大変だと思います。新しい園もできたので、いろいろな園が見学できるといいなと思います。
- 3 この様な機会を頂きありがとうございました。
- 4 小学校の先生と話せてよかったです。
- 5 また参加したいです。ありがとうございました。

(小学校)

- 1 とてもよい機会だと思います。今回、東松山市に教頭として着任いたしましたので、初めての参加となりましたが、管理職として参加するよさは、学校全体に広められるというところだと思います。ですが、若手教員、または、高学年を担当している教員なども参加すると理解が深まり「接続」が、より進んでいくのではと感じました。ありがとうございました。

幼保小三者連絡会 アンケート結果

日にち 令和7年2月5日(水)
 会 場 あっぷる幼稚園(公開保育)
 松山市民活動センター(研究協議)
 参加者 公開保育 38人
 研究協議 34人
 アンケート回収 25枚
 回収率 73.5%

1. 所属

	幼稚園	保育園	小学校	その他	計
人	5	21	2	0	28
%	17.9	75.0	7.1	0	100.0

2. 参加回数

	初めて	2回目	3回目	4回目以上	計
人	12	7	4	5	28
%	42.9	25.0	14.3	17.8	100.0

3. 参加してみたの感想

	大変良かった	まあまあ良かった	ふつう	やや物足りない	物足りない	未記入	計
人	20	5	1	1	0	1	28
%	71.4	17.8	3.6	3.6	0	3.6	100.0

4. 良かった点、物足りない点

(幼稚園)

- 今回初めて「幼・保・小三者連絡会」に参加させていただき、あっぷる幼稚園さんを見学させていただき、活動の内容がとても素敵だなと思いました。合奏・合唱では子ども達の真剣な様子が日々一生懸命練習を行い、取り組んでいるのだなと感動しました。また、他園の先生とお話をする機会が中々ないので、皆さんの意見を聞くことができ、とても貴重な経験となりました。
- 実際に子ども達の普段の様子を見て、自分の園と異なる点や共通点を見つけ、改めて、自分の保育を見つめるきっかけとなりました。合唱、合奏を見させていただき、中、高生で出て

くるような楽器もあり、魅力を感じました。また、連絡会では小学校や保育園さんの立場から物事を聞いたり、1日の流れを知り、視野が広がりました。

- 3 自分の園との保育の違いを見ることができ、新たな気付きを得ることができました。こども達主体の保育を行ってきたので、公開保育で園の様子を見て、こども達への声の掛け方や、関わり方の大切さを改めて感じました。普段の保育を見られたら、こどもと大人（担任の）関りが（やりとり）見られたと思います。
- 4 他園の保育と自園の保育の違いを見て知ることが出来た。また、良い所、共感できない所を改めて学び、自分の保育を振り返って改善するととても良い機会となった。小学校へつなげていく為の保育を小学校教諭の方から学べた。
- 5 他の幼児期の保育、同じ1年生になるこども達との関わりについて話を聞く機会となり、とても学びが多くあった。話し合いがあまり有効でなかったのが残念である。1時からの会議はとても大変でした。保育が終わってからの時間を設けてほしいです。

(保育園)

- 1 自分の園とは全く違う保育を見ることができて、みなさんと話しあうことで、とても勉強になりました。もっと色々聞きたかった。時間が足りなかった。
- 2 他の園の方と意見交換ができてよかった。
- 3 園の方針の違いがよくわかりましたし、色々な意見を聞くことが出来て良かったです。
- 4 先生方の意見が聞けた事
- 5 他園の保育を見ることが出来る機会は貴重なので大変学びになった。ただ、「幼・保・小三者連絡会」なのに小学校の教員の参加人数が少ないのは残念であり、物足りないと感じた。
- 6 あっぷる幼児園の保育を拝見でき、我園とは違った活動内容が新鮮であり、参考となる点がたくさんありました。実際のこどもの姿を見ることで何を感じているのかが分かり、参考にもなりました。1時間が短かったです。午後も時間がもっと欲しかったなと感じました。
- 7 他の園の様子を近くで見られたり、部分的に自園でも出来そうな所があり、参考になった。
- 8 他園の保育中の姿など見る機会はあまりないので、とても貴重な体験となりました。また、保育内容についても今後の保育で取り入れたり参考になった点も多く、よりよい保育環境につながっていくのではないかと思います。このような機会を設けて頂きありがとうございました。
- 9 同じ年齢のこども達の様子が見られて勉強になりました。研究協議でも他の園の環境設定や取り組みも聞くことができ良かったです。
- 10 学校に上がった時の大事な事、必要な事が聞けたので良かった。
- 11 初めて参加をして他の園の話を聞いたり、実際に見てみてとても為になることばかりでした。次回、また機会があれば、普段の保育の様子やこども達の様子、保育者とこども達のやり取りなどが見れたらぜひ参考にしていきたいと思いました。
- 12 小学校との関わりをもっと持てるとよい。学校の先生の出席がもっとあるとよいと思います。
- 13 音楽等を通してひとつのことを成し遂げることや、マラソンやキャッチボールを通じての体力作りがとても印象的でした。2歳クラスを担当しているので、成長基盤を育くめるように

したいと思いました。ありがとうございました。

- 14 他園での取り組みを知る機会が普段ないので、色々と聞くことができて良かった。もっと小学校での実践的な取り組みを知りたかった。
- 15 他園の保育を見る事ができ、どのような取り組みを行っているのか知ることができて良かった。研究協議では、自分では気づかなかった疑問も他の先生方のお話から気付くことができた。
- 16 公開保育を通して、他園の年中年長児の様子を見ることがで、良かった。また、異年齢保育のメリットとデメリットを見学を通して学ぶことが出来ました。
- 17 いろんな保育園があることが知れて良かったです。
- 18 他の園を見ることで、園の特色、力を入れていることなど、実際目で見えて理解することができる良い刺激となり、自分達に足りないことが気付いて、とても良い機会となりました。ありがとうございました。
- 19 他園の保育を見学させてもらうことで、自分の保育を振り返る機会になりました。又、協議会では、小学校の先生の意見を聞くことで、こども達に残り2か月伝えていきたい部分が、より明確になりました。一日の中での気づきや学びを自園に持ち帰り、生かしていきたいと思います。
- 20 幼保小三者の協議なのに小学校の先生が少なく（3班は不在）聞きたい話が聞けなかった。他園の生活については知れた。1部屋にまとまり、小学校の話も聞きたかった。
- 21 「小学校にあがるために」「小学校に向けて」と年長児の保育を大事にした方が良い、という風に感じました。そこに皆さんがうなずかれていたので、そこに皆さんが向かっているのかなと感じました。私自身、こども達の将来を見すえて保育していますが、小学校に向けてではなく、各年齢の発達を大事にしていきたいです。

(小学校)

- 1 園の特色ある保育の様子を見ることができてよかった。小学校の参加が少ないのももう少し参加があるとよいと思う。
- 2 幼児期の素直な様子や、ボール遊び、ルールを守る様子などに驚きました。日々の積み重ねの素晴らしさだと感じました。もっと見たかったと思う部分は、手洗いや楽器の準備をしている所を見たいなと思いました。

5. 今後の三者連絡会の実施方法等についてご意見、ご要望がありましたらご記入ください。

(幼稚園)

- 1 小学校の先生が一人も午後参加がなかったのは残念であった。資料の音読をした上に司会の先生がくり返す・・・(限られた時間なのに。)

(保育園)

- 1 小学校の先生がもっといてくれたら、うれしいな、と思いました。
- 2 小学校の先生の参加をお願いします。意見、様子を聞きたかったです。

- 3 意見交換が出来る形があるのがとても良いと思うので現状のままでも勉強になる会であると思う。小学校の教員にはもう少し参加していただきたい。
- 4 とても良い機会になるので今後も続けて欲しい。
- 5 研究協議会を通して他園の取り組みを聞くことができました。
- 6 小学校の先生がもっとたくさん来ていただけるともっと接続期について語れるのでは・・・と思います。
- 7 上記の通り、連携の部分を大切にしたい。
- 8 様々な特色がある幼稚園、保育園がある中で、その園に出向いて、というのは難しいのではないかと思います。

(小学校)

なし